

■8月13日

スカイマーク、7月、旅客輸送実績

スカイマークは10日、2013年7月の旅客輸送実績を発表した。

提供座席は862,875、合計搭乗者数は同2.4%増加の60万8097人だった。平均利用率は71.6%と前年同月と比べて、3.8ポイント上昇した。

成田発着路線は、那覇線の搭乗率が78.0%と好調で、先月は3割台と低調だった3路線も、札幌線68.5%、福岡線51.4%、旭川線55.5%と搭乗率が向上した。

また、7月10日から就航した那覇—石垣線の搭乗率は56.3%、神戸—石垣線の搭乗率は46.7%だった。

(スカイマーク プレスリリース)8/10

http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.html (-> http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.html)

関空機内食会社、LCC台頭で業績悪化

(朝日新聞によると)

外食チェーンのグルメ杵屋は12日、飛行機の機内食を手がける子会社で希望退職を募り、割り増し退職金などの経費で2億6500万円の特別損失が生じたと発表した。今年4～6月期の連結決算に計上した。

希望退職は、関西空港の発着便の機内食をつくるエイエイエスケータリングで4月に実施。43歳以上60歳未満の正社員が対象で、50人の募集に55人が応募した。航空会社の経費削減に加え、機内食を無料で提供しない格安航空会社(LCC)が増え、業績が低迷していたという。

(朝日新聞)8/12

<http://www.asahi.com/business/update/0812/OSK201308120109.html> (->

<http://www.asahi.com/business/update/0812/OSK201308120109.html>)

ベトジェットエア、ハノイから新たに2路線就航

民間航空会社ベトジェットエアは10月15日からハノイ～フエ/バンメート線を新たに就航する。7日付ダウトウ紙(電子版)が報じた。

新路線はいずれも1日1便のデイリー運航で7日からこの2路線のチケット販売を開始した。

また同社はホーチミン～ハイフォン/ビン/フーコック線をそれぞれ1日3便に増便した。同社は新路線就航と増便を記念して、今月20日まで全路線を対象とした運賃割引キャンペーンを実施している。

(viet-jo)8/12

<http://www.viet-jo.com/news/tourism/130808075244.html> (-> <http://www.viet-jo.com/news/tourism/130808075244.html>)

フィリピン航空、エアバスA321型を受領、航空機増強プログラムの一環

フィリピン航空はこのほど、エアバスから短・中距離向け「A321」型機を調達したと明らかにした。同社は昨年「航空機増強プログラム」を進めており、今回はその第1弾となる。ビジネスワールドなどが伝えた。

同機は、アジア地域と国内の主要路線に投入を計画しており、座席数はビジネスクラス12席とエコノミークラス187席の計199席。

同社は昨年、路線拡大に向けて、新たに航空機を100機以上購入する航空機増強プログラムを発表し、エアバスからは95億米ドル(約9,200億円)を投じて64機を調達するとしていた。

内訳はA321型機が44機、中・長距離向け「A330」型機が20機で、そのうちA330型機は、9月に一括して調達する予定だ。

(NNA ASIA)8/12

<http://news.nna.jp/free/news/20130812php005A.html> (-> <http://news.nna.jp/free/news/20130812php005A.html>)